

委員会の行政調査報告

都市環境委員会

委員長 市原誠二

7月24日・25日に富山県富山市及び長野県長野市を訪問し、行政調査を行いました。

富山市では、「セーフ&環境スマートモデル街区の整備」について調査を行いました。

公民連携による質の高い住宅地の供給は、購入者、地域、自治体などに対し長期間にわたり良い影響（住宅価値維持、税込維持）をもたらすことを理解できました。また、開発業者、住宅購入者、自治体が協定を結び、町内会活動を補完する団地管理

組合の可能性を知ることができ、今後の尾張旭市のまちづくりに生かしていきます。



富山市にて

長野市では、「地域運営組織・都市内分権・住民自治」について調査を行いました。

「自治会への一括交付金の支給」や地域の「実情に合わせた活動を推奨」している点など、

大改革を経てもなお、市と自治会とが密接な関係を維持できていることを知ることができました。尾張旭市においても、長野市のような熱意や工夫・施策により57%（令和5年度）の自治会加入率を維持、向上させることも不可能ではなく、市政運営に意見反映していきます。



長野市にて

総務委員会

委員長 山下幹雄

若年層の投票率向上に向けた多角的な取組

7月30日に兵庫県神戸市を訪問し、「若年層の投票率向上に向けた多角的な取組」について行政調査を行いました。

学生が主体となって、SNSで投票を呼び掛けたりしたこと

から行政が動き、大学との連携で投票率向上の戦略が練り広げられていました。

例えば、選挙推進協議会があり、組織の委員には学生も委嘱されている。また、選挙事務従事者への若者の積極登用もされており、若者が選挙と関わる機会が創造されていました。

投票行動を促す啓発グッズにはデザイン性も含め、多彩な工夫がされていたことは、本市の

選挙関連事務においても参考とするよう提言していきたい。



神戸市にて

訂正とお詫び

令和6年9月に発行しました市議会だより第243号の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

訂正箇所

- 3ページの議案等の審議結果について、承認第3号「令和6年度国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号）の専決処分の承認」における山下幹雄議員の賛否
（誤）空欄 （正）○
- 11ページの榊原利宏議員の個人質問の記事内、2つ目の④部分の最後の文章
（誤）「1月には旭小学校で行う。」（正）「1月には旭丘小学校で行う。」
- 4ページの個人質問のタイトル部分について、「※議長（松原たかし）、副議長（陣矢幸司）、監査委員（大島もえ）は、慣例により一般質問を控えています。」の一文の記載がございませんでした。